

実務経歴書の記入例

氏名 **建築 太郎** 旧姓

「実務のみ」又は「学

・建築実務に携
わった期間を
記入すること

・他の業務に付随して建築業務を行っ
た場合には、全体の期間に占める建
築実務を行った期間の比率(%)を記
入し、実務期間を算定すること
(例:1年(在職期間)×50%(比率)=6ヶ月)

平成20年11月27日までと
平成20年11月28日以降を分けて記入すること

月27日以前
で、最終学歴
の場合は、合格の

最終学歴		学校・学科名		卒業		要	
平成19年3月15日		東京建築高等学校 建築科		卒業		要	
勤務先 (部課名まで)	所在地(番地まで) 電話番号(現勤務先以外すべて)	在職期間		地位 職名	この期間における建築実務の内容	在職期間①に 対する建築実 務の占める比 率②	実務期間 (①×②)
		年月～年月	期間①				
平成20年11月27日までの実務経歴	〇〇建設(株) 設計部 設計二課	〇〇市〇〇町9-9 0XX(123)4567	H19.4.0～H19.6.3	係員	駅前ビル新築工事(RC造事務所)、 ほか3件木造住宅新築工事設計補助	100%	0年3ヶ月
	〇〇建設(株) 〇〇支店 設計課	〇〇市〇〇町9-9 0XX(123)4567	H19.7.0～H20.6.0	係員	〇〇賃貸住宅新築工事(S造)、ほか 2件S造共同住宅新築工事設計補助	50%	0年6ヶ月
	〇〇建設(株)〇〇支店 工事課	〇〇市〇〇町3-3 0XX(123)9876	H20.7.0～H20.11.5	主任	〇〇合同庁舎建築工事(建築一式工事) 施工管理	100%	0年5ヶ月
平成20年11月27日までの実務期間の小計①							1年2ヶ月
平成20年11月28日からの実務経歴	〇〇建設(株)〇〇支店 工事課	〇〇市〇〇町3-3 0XX(123)9876	H20.12.0～H21.5.6	主任	〇〇合同庁舎建築工事(建築一式工事) 施工管理	100%	0年6ヶ月
	〇〇設計(株)構造部 設計課	〇〇市〇〇町9-9 0XX(123)9876	H21.6.0～H21.12.7	係長	〇〇小学校体育館ほか3棟耐震診断	100%	0年7ヶ月
	(〇〇建設から出向)	〇〇市〇〇町9-9					
	〇〇ハウジング(株) 工事部工事課 (〇〇建設から出向)	〇〇市〇〇町9-9 0XX(123)4567	H22.1.0～H24.6.6	係長	〇〇邸増築工事(1階居間等の約30㎡ の施工管理) ほか10棟木造住宅増築工事施工管理	80%	2年0ヶ月
平成20年11月28日からの実務期間の小計②							3年1ヶ月
実務期間の合計(小計①+小計②)							4年3ヶ月

注意1. 在職中で携わった実務の内容(工事名、物件名、職務内容等を具体的に)、在職期間に建築実務の占める割合を乗じた年・月数を記入すること。
2. 建築一式工事、大工工事、建築設備の設置工事に該当しない工事の単なる労務や施工管理は、建築実務には含まれないので、必ずその割合を除外すること。
3. 平成20年11月27日以前の実務経歴は、建築実務には含まれないので、必ずその割合を除外すること。
4. 実務経歴書欄が足りない場合は、追加書類の提出等により対応してください。
5. 実務経歴について、さらに必要な添付書類を提出してください。

実務経歴証明書 上記の記載内容は事実と相違ないことを証明します。(受験申込者本人以外での証明が必要です) 平成24年 4月 3日

証明者(署名) 山田 次郎 勤務先等 〇〇ハウジング(株) 所属部署 工事部

受験申込者との実務上の関係 上司 役職 部長 電話 0××(123)9876

管理建築士に該当 (する)・しない 建築士免許の種類 (一級)・二級・木造 登録番号 999999

注意1. 証明者は、原則として、所属する建築士事務所等の管理建築士又は実務経歴を証明できる建築士として下さい。建築士の証明が得られない場合は、所属部署の所属長、関連団体や組合等で実務経歴を証明できる者として下さい。
2. 自営業、過去に勤務していた会社が廃業している等で建築士の証明が得られない場合は、発注者・施工者その他関係者で実務経歴を証明できる者として下さい。
3. 上記による建築士等の証明が、どうしても、得られない場合は、具体的にその理由を以下に記載し、受験申込者本人の署名をして下さい。なお、この場合は、対面受付の審査の際に、実務経歴について詳細に確認しますので、具体的に説明できるようにしておいて下さい。必要により、年金加入記録等の提出を求められる場合があります。
4. 証明者が複数になる場合は、コピーをして使用して下さい。
【虚偽の証明をした場合は、建築士の処分を受けることがあります。】

実務経歴証明書が得られない場合

理由: 上記の記載内容は事実と相違ないことを証明できません。また、当該実務経歴の確認のための調査・追加書類の提出等に対して、協力をしません。

平成 年 月 日
(受験申込者本人の署名)

実務経歴証明書が得られない場合に具体的な理由を記入し、受験申込者本人が署名すること
(実務経歴の確認のために、追加書類の提出等を求められた場合、すみやかに提出して下さい。)